
青春の肖像 終章

山之口 博道

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青春の肖像 終章

【Nコード】

N8132F

【作者名】

山之口 博道

【あらすじ】

面影の少女は永遠に失われてしまったのだった。

最終章

11、終章

野梨子は県庁所在地の大きな病院に入院したと聞いたが、わたしが見舞うことはできなかった。但馬先生が1度行って野梨子を見舞ったが、

わたしには特になんの話もなかった。わたしの出る幕ではなかったということだった。

「山之内先生は行かないほうがいいでしょう。」

そう、皆はわたしに言うのだ。

なぜ？当時のわたしにはその理由が分からなかった。

後になって聞いたところによると、

野梨子の病状は思いのほか悪く、精神的にもとても不安定だったのだそう。

頬差的に泣き叫んだり、暴れたり、

行きたいでも怖い、野梨子の入院姿を見たくなかった。

野梨子だって見られなくなかっただろう。

今のようにケータイ電話があるわけでなし。

連絡なんて手紙くらいだ。

しかし、手紙に思いのたけをつづればそれはつまり

野梨子を思っていることが暴露されてしまう。

電話なんて野梨子が出られるはずもないし。

わたしはただ悶々として気をもむばかり。

そうこうする内、野梨子が東京の大病院に転院したと聞いたのは秋も深まった頃だった。

それから何の音信も野梨子からはなかった。

というよりも、野梨子には連絡する手段も気力もなかったのだと思

う。

そしてある冬の日、

わたしは野梨子がなくなったと聞いたのだった。

葬儀は近親者だけで執り行うとのことだった。

わたしは深く考えた。

わたしは野梨子に一体何がしてやれたのだろうか。

野梨子って一体わたしのことを本当はどう思っていたのだろうか。
目を閉じれば浮かぶ野梨子の絵姿。

わたしは深く傷つきすべてが白黒映画のように精彩を欠くに到って
しまったのだった。

魂の抜けたような、わたし、

しかし、その年も明けたある寒い日、

わたしの元へ野梨子の両親が訪れ、

かわいい封筒を届けてくれたのだった。

それは野梨子の文字に間違いはなかった。

「山内先生へ」表にそうあった

中をあげると

そこにはこんな文章が、

『先生の言ってくれたこと

一生忘れません。

ありがとう。』

わたしは一体何を野梨子に言ったのだろうか？

何もしてない、野梨子を励ますこともできなかったし、

それなのにありがとうとは？

恐らく、他の目をはばかりながらも、書くことができた精一杯の野
梨子の

言葉だったのだろう。

わたしのいったことっていったい？

わたしのどの言葉をさしているのか皆目分からなかった。

ただじつと野梨子を思い浮かべて呆然として冬も過ぎていった。

そして、冬もあけて、

ようやく山里にも春の気配が来た頃、

わたしはこの思い出の地をある理由から去ることとはなったのだった。

そしてそれ以来わたしは2度とその地へは行ったことがない。

訪れる気にもならなかったし、

わたしの青春はそれ以来永久にわたしの心の中で凍り付いてしまったのだから。

それ以来、わたしは野梨子の姿をずっと心の中に埋もれさせたまま、こうしてこんな年になるまでいだけ続けていたのだった。

思い出せば胸が苦しくなる野梨子とのつかの間の思い出

野梨子はたくさんの想い出を残していつてしまった。

それは確かにわたしの青春の肖像、野梨子の肖像だったに違いなかった。

そして野梨子が望んだように二人の恋は永久に二人だけの秘密として誰知ることなく凍結され続けることになったのだった。

おわり

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8132f/>

青春の肖像 終章

2010年11月2日02時38分発行